



芸術祭「科学と芸術の丘 2025」開催 ～プレス発表・第1弾～

文化やアートを活かしたまちづくりを推進する松戸市では、今年で8回目となる芸術祭「科学と芸術の丘」を10月24日（金）～26日（日）に開催します。

本芸術祭は、メイン会場となる戸定邸・戸定が丘歴史公園の美しい自然の中で、最先端のテクノロジーやアートが融合した多様なプログラムを体験できることが特徴です。今年も、世界的なメディアアートの文化機関「アルスエレクトロニカ」や国内外のパートナーとの連携を進め、芸術作品の特別展覧会、トーク、ワークショップ、マルシェ、松戸の街なかのまちあるきプログラムなどの検討を進めます。

- 開催日程 令和7年10月24日（金）～26日（日）
 - 開催会場 戸定邸、松雲亭、戸定が丘歴史公園、松戸市内各所ほか
 - 開催内容 作品展示、トーク、ワークショップ、マルシェなど
- ※昨年度来場者 11,034人（開催史上最高人数）



科学と芸術の丘公式 HP



過去展示の様子（撮影：Hajime Kato）



過去開催ワークショップ（撮影：Yoshiaki Suzuki）

●今後の予定

- 6月30日** 科学と芸術の丘公式ホームページ・リニューアルオープン
- 8月下旬頃** 招聘アーティスト決定
カタリストスタッフ（ボランティアスタッフ）募集開始
- 9～10月** プレイメント開催

【本件に関する問い合わせ先】

〒271-8588 千葉県松戸市小根本7-8 京葉ガスF松戸第2ビル6階
松戸市文化スポーツ部文化スポーツ政策課
☎047-712-1593 FAX047-711-6387
✉ mcbunkasports@city.matsudo.chiba.jp



やさシティ、まつど。
matsudo

●2025 開催テーマ



あなたは「△」を見て、何を思い浮かべますか？

三角形、三角州、ギリシア文字、数学の記号——あるいは「△」の“かたち”から、山や丘、おにぎりなどを思い浮かべる人もいるかもしれません。

「△」は単純な形であるからこそ、見る人によって異なるイメージが立ち上がる、不確かで、ひらかれた存在。まだ名前のない状態、未踏の地形、決まりきっていない可能性そのものを象徴しているようにもとらえられます。

白か黒か、正か誤か —— はっきりとした答えではなく、そのあいだに揺れ動く問いや表現。私たちはそこにこそ創造の豊かさがあるのではないかと考えています。

では、この芸術祭の舞台である松戸というまちはどのようなところでしょうか。

江戸時代には水戸街道と江戸川が交差する宿場町として栄え、現在では多様な背景を持つ人々が集まり、ともに暮らしています。今も昔も異なる文化や価値観が交わるこのまちでは、今後さらに新しい発想や対話が芽吹いていくのかもしれませんが。

国や言葉の違いを越えて、ともに手を動かす瞬間や、思いがけない出会いが、静かにその土壌を耕し、やがて新たな風景を創っていく——松戸は、そんな創造の場でもあるのです。

グローバルなつながりが揺らぎ、対立や緊張が深まる現代において、社会は安定や明確さを求める傾向を強めています。そんな時代だからこそ、曖昧さを受けとめながら、問いと答えのあいだを行き来し、そして他者への「想像力」と、まだ見ぬものを生み出す「創造性」を持ち続けたいと、私たちは考えています。

もちろん、そうはいつでも、私たちは日々の生活のなかで決断を重ねて生きています。けれども時には、選ばなかったものや、決断する前に迷った時間にも、大切な意味があるはずで。選ばなかった選択や、考えた時間への視座こそがやさしさであり、創造性の源なのではないでしょうか。

このような問いに向き合いながら、私たちは今年の芸術祭のテーマを「Delta of Creativity -創造の△-」と掲げました。

創造性を形にしていくことは、ときに国や地域、時間さえも越えていく力を持っています。未来が不確かで、答えのない時代だからこそ、それぞれが思い描く「△」を手がかりに、まだ名づけられていない未来をともに創っていきましょう。